

製品安全データシート

(Material safety data sheet)

【MSDS No.】 HIKARIW 作成：2011年6月15日 改正：

1、製品及び会社情報

製品名 : ウエルハンダひかり

会社名 : 日本ウエルディング・ロッド(株)

住所 : 東京都中央区銀座 1-13-8

担当部門 : 業務本部

電話番号 : 03-3563-5173

Fax 番号 : 03-3561-3665

2、危険有害性の要約

GHS 分類

GHS 分類

可燃性固体	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分 2
発がん性	区分 2
生殖毒性	区分 1A
特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）	区分 1
特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）	区分 1
水生毒性（慢性）	区分 4

*記載がないものは分類対象外または分類できない。

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 危険

危険有害情報

- ・眼刺激
- ・吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
- ・アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・呼吸器、腎臓の障害
- ・長期または反復暴露による呼吸器、造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系、免疫系、肺の障害
- ・長期的影響により水生生物に有害のおそれ

取扱注意

予防策・はんだ付け用途以外に使用しないこと。



-
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - ・粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気の吸入を避けること。
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 - ・取扱後は手を洗うこと。
 - ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
 - ・環境への放出を避けること。

- 対応
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
 - ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 - ・呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
 - ・取り扱った後、手を洗うこと。
 - ・暴露した場合：医師に連絡すること。
 - ・汚染された衣類を再使用する場合には、洗濯すること。

- 保管
- ・直射日光を避け、通風の良い場所に保管。
 - ・施錠して保管

- 廃棄
- ・内容物や容器は関係法令に基づき適正に処理すること。

3、組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名及び含有量： **はんだ (SnPbAgNi)**

錫 (Sn)	(59.0～61.0%)
鉛 (Pb)	残部
銀 (Ag)	(0.20～0.60%)
ニッケル (Ni)	(0.30～0.60%)

官報公示整理番号：

化審法：－

安衛法：－

CAS No. : Sn (7440-31-5) / Pb (7439-92-1)
Ni (7440-02-0) / Ag (7440-22-4)

危険有害成分：錫、鉛、銀、ニッケル

4、応急措置

熔融状態では、皮膚に触れば火傷を負うので、一般の火傷の手当てにより処置する。
ガスを多量吸引した場合は、空気の新鮮な所に移し、安静、保温に努める。

目に入った場合 : 直ちに清浄な流水で洗浄し、目に入った製品を完全に洗い流し、直ちに眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付いた場合 : 直ちに付着した製品を拭き取り、多量の水で洗い流してから石鹸を使って洗い落とす。外観の変化が見られたり痛みが続く場合は、医師の手当てを受ける。

吸入した場合 : 新鮮な空気の場合に移動させ、呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにし、呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は衣類を緩め、呼吸気道を確保した上で人工呼吸（又は酸素吸入）を行い、直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに多量の水又は牛乳を飲ませた後、直ちに医師の手当てを受ける。

5、火災時の措置

消化方法 : 火元の燃焼源を断ち、消化剤を使用して消化する。消化作業の際には必ず火災の状況に応じた保護具を着用する。

消化剤 : 泡、粉末、乾燥砂、炭酸ガス

使ってはならない消化剤 : 水

6、漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時処置

: 特になし

環境に対する注意事項 : 製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。

回収、中和 : 飛散したものは拾い集めて空容器に回収する。

7、取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : はんだ付け作業には、局所排気装置を使用して下さい。また作業終了時及び食事前にはうがい、手洗いを充分に行なって下さい。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け、通風の良い場所に保管してください。

施錠して保管してください。

8、暴露防止及び保護措置

設備対策 : 局所排気装置、全体換気装置、作業終了後はうがい手洗い、洗顔の励行

許容濃度 : Sn 2.0 mg/m³, Pb0.05 mg/m³, Ag 0.01mg/ m³, Ni1.5 mg/m³

保護具 : 必要に応じて適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。

9、物理的及び化学的性質

外観 : 固体

色 : 銀白色

比重 : 約 8.4

融点 : 液相温度 約 190 °C

固相温度 約 183 °C

溶解性 : 水に不溶

10、安定性及び反応性

安定性 : 通常条件下で安定である。

反応性 : 空気中で徐々に酸化される。

避けるべき条件 : 酸化剤との接触

混触危険物質 : 酸、酸化剤

その他 :

基本的には安定物質であるが、はんだ付け作業において、はんだ溶融時に水分が伴う物質が触れると、瞬間的に気化しはんだが飛散する。飛散したはんだを眼に入れぬ様に注意する。溶融したはんだに触れると火傷を負うので注意する。

11、有害性情報

急性毒性	: データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	: データ不足のため分類できない。
目に対する重篤な損傷性／刺激性	: 眼に対して刺激性がある (区分 2B)
呼吸器間作性	: 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ (区分 1)
皮膚間作性	: アレルギー性皮膚炎を起こすおそれ (区分 1)
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	: 呼吸器、腎臓の障害 (区分 1)
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	: 長期または反復暴露による眼、造血系、腎臓、中枢神経系、末梢神経系、心血管系、免疫系、肺の障害 (区分 1)
生殖細胞変異原性	: 遺伝子性疾患のおそれの疑い。
発がん性	: 発がんのおそれの疑い (区分 2)
生殖毒性	: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ (区分 1A)

12、環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	水性環境有害性 (急性) : データ不足のため分類できない。
	水性環境有害性 (慢性) : 長期的影響により有害のおそれ (区分 4)

13、廃棄上の注意

環境汚染防止の観点から、廃棄にあたっては、地方自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼するか、納入業者に相談して、適正に処置するのが望ましい。

14、輸送上の注意

運搬に際しては、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。

15、適用法令

労働安全衛生法	: 鉛中毒予防規則第 1 条の 1 鉛化合物 施行令第 18 条名称等を通知すべき危険物および有害物質 すず及びその化合物 鉛及び無機化合物 銀及びその水溶性化合物 ニッケル及びその化合物
化学物質管理促進法	: 第 1 種指定化学物質 鉛及び無機化合物 銀及びその水溶性化合物 ニッケル及びその化合物
大気汚染防止法	: 施行令第 1 条有害物質 鉛及び無機化合物
水質汚濁防止法	: 施行令第 2 条有害物質 鉛及び無機化合物
土壌汚染対策法	: 施行令第 2 条特定有害物質 鉛及び無機化合物

16、その他の情報

参考文献

JIS Z 7250 : 2005 化学物質等安全データシート

溶剤ポケットブック 有機合成化学協会 編

化学物質管理促進法対象物質データ 化学工業日報社 編

14303 の化学商品 化学工業日報社 編

MSDS・ラベル実務早分かり 産業環境管理協会 編

以 上

※ 危険性・有毒性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

